

SNOW BANK PAY IT FORWARD2011
「スノーボードと骨髄バンクを未来に伝える」
～骨髄バンク20周年記念キャンペーンイベント～
報告書

SNOW BANK PAY IT FORWARD2011実行委員会



SNOW BANK
PAY IT FORWARD 2011

スノーボードと骨髄バンクを未来に伝える。

実施概要

- 名称 : 骨髄バンク20周年記念キャンペーン・イベント
SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011「スノーボードと骨髄バンクを未来に伝える」
- オフィシャルHP : <http://www.sbpif.net/>
- 実施日 : 2011年11/12(土)～11/13日(日)
- 実施会場 : 代々木公園(東京都渋谷区代々木神園町神南2丁目)
- 主催 : SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011 実行委員会
- 共催 : 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
- 後援 : 厚生労働省 / 骨髄移植推進財団 / EBウイルス感染症研究会
慢性活動性EBウイルス感染症患者会～SHAKE～
- 特別協力 : 株式会社ケイビープランニング インターナショナル / Office Nakao
BRAVE PROJECT / カドマン企画 / 株式会社クリエイティブPR
株式会社青山第一出版 / 株式会社AOBA / KIBOKO(イラストレーター)
F-WORLD
- 出演者 : 大谷貴子(全国骨髄バンク推進連絡協議会 前会長)
三田村真(全国骨髄バンク推進連絡協議会 理事)
平学(F-WORLD代表) / 奥本英樹(福島大学経済経営学類准教授)
奥中咲江(感染症患者会～SHAKE～代表)
新井文子(東京医科歯科大学付属病院・CAEBV研究会)
献血ちゃん(日本赤十字社) / 原千晶(女優) / 荒井善正(SBPIF実行委員長)
藤原一裕(MC) / 笹浪憲治(北海道ウォール) / 堀由美恵(陽けたら海へ代表)
KIBOKO(陽けたら海へアーティスト)
- 出演者(アーティスト) : モンキーパイレーツ / ギチ / HaLeBale / Niulani Akane / 無人島レコード
RUBY RED LIPS / カケラバンク / 星飛雄馬
- 出演者(プロスノーボーダー) : 安立風太 / 石川敦士 / 壁田竜一 / 河合徹子 / 工藤桃平
境野ミック / 佐藤めぐみ / 高尾翔馬 / テディークー / 中井孝治
チョコバナッパール新井 / 戸田聖輝 / 戸田真人 / 野堀大地 / 林陽介
平岡寛視 / 廣橋央人 / 藤沼到 / 山口たてき / 吉田将之 / 和田亮
杉田正憲 / 畠山絵美 / 上村好太郎 / 道原風子 / 細野大輔 / 上野恋慈

ご協力出店社様

＜ウィンタースポーツ関連企業様＞

- ・アドバンスマーケティング株式会社
- ・株式会社ムラサキスポーツ
- ・有限会社アースカンパニー(RIDEOUT)
- ・GARAGE INC.(DEATH LABEL)
- ・カスタムプロデュース株式会社(UNION)
- ・株式会社エム・ティ(YESNOWBOARD)
- ・株式会社エクシード(SPY OPTIC)
- ・YONEX株式会社(YONEX SNOWBOARD)
- ・株式会社USPジャパン(HEAD SNOWBOARD)
- ・株式会社カーメイト(FLUX BINDINGS)
- ・JUICE SNOWBOARD SHOP
- ・川場リゾート株式会社
- ・株式会社鹿島槍
- ・株式会社東急リゾートサービス
- ・株式会社プリンス

＜協力団体関連＞

- ・特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
- ・財団法人 骨髄移植推進財団
- ・慢性活動性EBウイルス感染症患者会～SHAKE～
- ・日本赤十字社
- ・NPO法人 オンザロード福島支部 F-WORLD
- ・北海道ウォール

＜飲食関連企業様＞

- ・菊水酒造株式会社
- ・株式会社ノナトレーディング
- ・有限会社しろねこ
- ・一風堂
- ・シナジーワールドワイドジャパン・ジャパン株式会社

＜遊器具関連企業様＞

- ・エピクロス株式会社
- ・スロット魂制作委員会

＜その他協力出店者様＞

原千晶さん手作り石けんブース

会場写真(ブース出店)



イベント会場全景



休憩広場



各種飲食ケータリングカーブース



一風堂



パチスロ試打ブース



スキー場チケット販売ブース



スノーボード関連ブース



会場写真(スノーボードセッション)



BSRセッション(スノーボード雪広場)ではオリンピック選手も含めた日本トップレベルのプロスノーボーダー達が集りセッション。たくさんの方が集まり盛り上がりました。

都内という立地もありスノーボードを知らない層にスノーボードを知ってもらえる良い機会になりました。



実行委員長荒井DAZE善正(骨髄移植経験者)自らもライディングし、骨髄移植を受けてもこんなに元気になれる事を発信。

これから骨髄移植を受ける患者に勇気を持ってもらえたらと思います。



献血ちゃんもライディング。身体を張って献血をPR。

会場写真(そりゲレンデ・キッズ雪遊び広場)



そりゲレンデとしても解放。雪に触れるのも初めての子供は大はしゃぎ。子供連れ家族の来場者が多かったようです。



今回はNPO法人オンザロード福島支部 F-WORLDの協力を受け、満足に外で遊ぶ事さえ出来ない福島の子供達を代々木公園に連れて来て遊ばせました。この時ばかりは笑顔いっぱいでした。

会場写真(メインステージ)



メインステージ上ではF-WORLDの平学氏、奥本准教授による「福島は今」を伝える講演会や女優原千晶さん、オリンピック選手中井孝治さん、プロスノーボーダー河合徹子さん、全国骨髄バンク推進連絡協議会前会長大谷貴子さん、CAEBV患者会～SHAKE～代表奥中咲恵さん、CAEBV研究会新井文子さんをお招きしての「現代の病について」パネルディスカッションなどを行ないました。誰にもなりうる可能性があるにも関わらずあまり知られていない「子宮頸癌」や「慢性活動性EBウイルス感染症」や「骨髄バンク」について話し合われました。

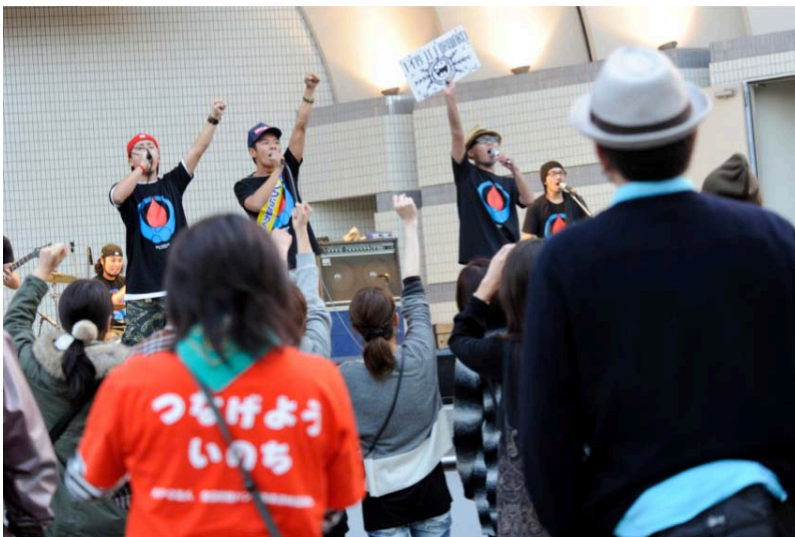


NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会が行なう東日本大震災被災患者支援基金のPRも行なわれました。

会場写真(音楽ライブ)



白血病を骨髄移植を受ける事で克服したステージに戻ったモンキーパイレーツのGAZZこと久保田誠さん。彼も骨髄移植を受けても元気になれる事を音楽で伝えた。



GAZZが実行委員長DAZEの著書を読んでインスピレーションを受け「START LINE」「PAY IT FORWARD」の2曲を作曲。更にスノーボードを盛り上げたいという思いから作曲した「WE LOVE SNOWBOARD」を加えた3曲を「DAZE BAND」として熱唱。会場はひとつに。



他にも無人島レコード、カケラバンク、HaLeBaLe with Niulani Akane、RUBY RED LIPS、ギチ、お笑い芸人星飛雄馬さんがLIVEを行いイベントを盛り上げ手くれました。若者に骨髄バンクを自然に知ってもらえる機会になりました。

会場写真（献血、骨髄バンクドナー登録）



11月13日日曜日には日本赤十字社の協力を得て献血併行型骨髄ドナー登録会を実施しました。献血の実績は受付数60名、実施数46名でした。



日赤の協力もあり骨髄ドナー登録会の実績も受付44名、登録35名とたくさんの方にドナー登録をしていただきました。20年間こういった草の根活動を続けられたおかげで今の骨髄バンクがあり、今たくさんの方の命が救われています。



しかしながらいまだに骨髄移植を必要としていて実際に骨髄移植受ける事が出来ている患者さんは6割程度に留まっています。この数字をより10割に近づけたいと考えております。

PR報告

	会社名	媒体名	媒体種類	取材日	掲載日/放映日	URL
1	中日新聞東京本社	東京新聞	新聞	10月25日	10月29日	
2	NHK	こんにちは！いっと6けん	TV		11月7日	
3	NHK	飲ちゃんのワースト脱出大作戦	TV	11月11日、12日	12月23日	
4	株 BS-TBS	NEWS21・サタデースコープ	TV	11月10日、12日	11月12日	
5	株 テレビ東京	TXNニュース	TV	11月12日	11月12日	
6	東京メトロポリタンテレビジョン 株	MXニュース	TV	11月13日	11月13日	
7	株 実業の日本社	SnowBorder	雑誌	11月12日	12月14日	
8	トランスワールドジャパン 株	TRANSWORLD	雑誌	11月13日	12月6日	
9	株フリーラン	FREERUN	雑誌	11月13日	12月27日	
10	株 医学芸術社	看護ジャーナル	雑誌	11月13日	12月20日	
11	株 トップエンド	ユキスキ	Web	11月12日	公開中	http://www.yukisuki.jp/
12	株 デイネックス	ENJOY! SPORTS	Web	11月13日	確認中	http://www.enjoysport.jp/top.html
13	CK4VM	CK4ビデオマガジン	WEB	11月13日	公開中	http://youtu.be/V_vXNNUPBwC

「生きるチャンスを」

骨髄移植で重い病気を克服したプロスノーボーダーの荒井善正さん(31)千葉県我孫子市。今年も雪山で舞う。医師から命の危機を告げられたこともあった荒井さんは、「自分が頂いたチャンスを、一人でも多くの患者に届けたい」と、来月十二、十三の二日間、東京都渋谷区の代々木公園で日本骨髄バンクへの登録を呼び掛けるイベントを開催する。

プロスノーボーダー 荒井さん

(補川陽子)

するのが日課になった。抗がん剤治療で髪は抜け落ち、吐き気で寝返りを打つのもつらい状態。同じ病室の若者が亡くなる姿も見て、怖くて眠れない日もあった。「生きるチャンスを頂けないでしようか」。翌年三月、

移植で病克服 来月恩返しイベント

国内の大会で優勝し、医師から「骨髄移植し、スポンサーが付き 植をしなければ命が危なかった」と言われた。秋、千葉県船橋市の実 家、兄とは白血球の後、入退院を繰り返す。十一月に骨髄バンクにすが、原因さえ分からず、登録。ドナーはすぐには見つからなかった。一見つかると思っていた年後、重い血液の病気が、現実には違った。「慢性活動性EBVウイルス感染症」と判明。ナーの登録情報を検索



骨髄バンクの登録を決めた荒井善正さん(右)と、移植前内で骨髄移植を受ける患者の荒井さん(左)。右は善正さんの18歳の息子。東京市内の病院で。

骨髄バンク登録PR

骨髄バンク 提供する仲立ちをする事 白血球など 薬。ドナー登録者は現在約30万人いるが、患者に移植できる症例は6割。現在約1500人を登録しておき、人の患者が提供を持つ白血球の型(HLA型)ている。ことし12月で同日患者に骨髄を 発足20周年を迎える。

自分のブログで、読者と、荒井さんはボランティアで講演を続け、骨髄バンクへの登録を呼び掛ける活動をしてきた。今回のイベントもその一環だ。

支えてくれたのは、スノーボード仲間。バスター。今回のイベントもその一環だ。

度にも病室を訪れ、大会 競技台を作り、荒井さんのためにファンにドナ ンや冬五輪出場経験 がある中井孝治選手ら くれた。全国から千羽 ボーダー仲間らが技を 贈り色紙が届いた。当 披露する。会場には、 時交際していた妻の骨 髄バンクPRのプリー 子さん(28)も献身的に スを設け、移植経験者 看視してくれた。〇八 によるトークショーも 年、移植を受けるこ 行つた。

とができた。 荒井さんは「二人で 移植後も免疫拒絶反 も多くの人に骨髄バン 本と闘いながらハピク のことを知ってほ りを続け、一〇年に再 しい。若者のドナー登 び大会に参加した。現 録は大きな力になりま 在は体調も回復し、ア すから」と話してい ルバイトをしながら 入場は無料だが、運 営費は赤字覚悟のた ドナーに感謝の手紙 め、募金も呼び掛けて 在「回書いたが、規則 いる。問い合わせは、 実行委員会(電話03(6 645)7321、 「社会貢献が恩返し」

イベント成果

来場者数	: 約17,500人	
ドナー登録	: 受付	44名
	: 新規登録	35名
献血	: 受付	60名
	: 献血実施	46名

SBPIF JIB SESSION 結果

11/12 一般セッション

キッズ優勝 / 飛田流輝 (男子12歳)

女子優勝 / 松田麻衣子 (29歳)

男子優勝 / 熊田一貴 (26歳)

11/13 プロセッション

優勝 / 小野崎海斗 (16歳)
(前日の一般セッションからの勝ち上りアマチュア選手)

活動成果報告

おかげさまで、SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011を無事に開催する事が出来ました。皆様のご協力のおかげです。今回のイベントの成果として献血は受付数60名の献血実施数46名、骨髄バンクドナー登録受付数は44名の登録数35名でした。献血もドナー登録も一日だけの開催でこれだけの数のドナー登録があったと言う事は若者がただ知らなかっただけだと感じました。今回のイベントでの普及啓発の効果は今後、更に現れて来る事でしょう。そして今回のイベントを通じてスノーボードをはじめめる若者が増えたりしてウィンタースポーツ界の活性化に繋がったり、骨髄バンクにドナー登録する若者が増えたり、献血をする若者が増えたり、CAEBVや子宮頸癌などの知識が重篤化を防いだり出来る成果を期待しております。そして骨髄移植が必要な全ての患者さんにドナーが見つかる未来が訪れたらと思います。

ご協力本当にありがとうございました。

SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011 実行委員会
実行委員長 荒井 DAZE 善正